

平成19年度事業報告書

社団法人 日本観光協会

平成19年度事業報告書

I	組織活動事業	1
II	観光施策推進事業	5
III	広報宣伝事業	14
IV	観光情報の収集・提供事業	17
V	調査研究事業	19
VI	刊行物発行事業	20
VII	人材育成・研修事業	21
VIII	美化事業	23
IX	全国広域観光振興事業	24
X	ホテル・旅館登録事業	27

1. 諸会議の開催

(1) 平成19年度（第44回）通常総会

- ①日 時：平成19年6月13日（水）14:00～
- ②場 所：東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル
- ③議 題：
 - 1) 主要事業の取り組みの現状について
 - 2) 平成18年度事業報告（案）について
 - 3) 平成18年度決算（案）について
 - 4) 役員の補充選任（案）について
 - 5) 平成19年度事業計画（案）について
 - 6) 平成19年度予算（案）について
 - 7) その他
- ④関連行事：
 - 1) 平成19年度観光事業功労者表彰
 - 2) 平成19年度日本観光ポスターコンクール入賞者表彰
 - 3) ヘルスツーリズムセミナー
- ⑤情報交換会：

(2) 第137回理事会

- ①日 時：平成19年6月13日（水）12:00～14:00
- ②場 所：東京都港区芝公園3-3-1 東京プリンスホテル
- ③議 題：
 - 1) 平成19年度（第44回）通常総会提出議題について
 - 2) 会員の入会について
 - 3) その他

(3) 第138回理事会

- ①日 時：平成19年9月27日（木）13:30～15:00
- ②場 所：東京都千代田区紀尾井町1-2 グランドプリンスホテル赤坂
- ③議 題：
 - 1) 平成20年度財団法人日本船舶振興会及び財団法人日本宝くじ協会並びに財団法人空港環境整備協会への助成金の交付申請（案）について
 - 2) 平成20年度事業計画（案）及び収支計画（案）について
 - 3) 会員の入会について
 - 4) その他

(4) 第139回理事会

- ①日 時：平成20年3月19日（水）15:00～16:30
- ②場 所：東京都千代田区紀尾井町1-2 グランドプリンスホテル赤坂
- ③議 題：
 - 1)平成19年度事業報告（案）及び決算見込について
 - 2)全国広域観光振興基金の繰入（案）について
 - 3)全国広域観光振興基金の取り崩し（案）について
 - 4)平成20年度事業計画（案）及び収支計画（案）について
 - 5)今後の協会の役割と事業のあり方について
 - 6)会員の入会について
 - 7)主たる事務所の移転について
 - 8)その他

(5) 全国広域観光振興事業運営評議会の開催

- ①第16回 日 時：平成19年8月20日（月）
場 所：東京都千代田区 ホテル・ルポール麹町
- ②全国広域観光振興事業運営評議会の開催
第17回 日 時：平成20年3月19日（水）
場 所：東京都千代田区 ホテル・ルポール麹町

(6) 都道府県・指定都市観光協会（連盟）会長等会議の開催

- 日 時：平成19年11月30日（金）
- 場 所：東京都港区 虎ノ門パストラル
- 議 題：
 - ・事業の実施状況
 - ・観光立国推進基本計画の概要
 - ・台湾市場の動向動向について

(7) 正副会長・支部長合同会議

- 日 時：平成20年2月28日（木）
- 場 所：虎ノ門パストラル 4F「プリムローズ」
- 議 題：
 - ・主要事業の概要等について
 - ・今後の協会の役割と事業のあり方について

2. 国際観光交流の促進

台湾事務所の運営（日本財団助成事業）

- インバウンド促進により国内観光振興を進めるため、当協会台湾事務所において以下のような誘客宣伝・交流活動を積極的に行った。

- ①一般消費者、旅行者、報道機関等への我が国観光情報の提供
- ②ITF等観光展における、日本パビリオンへの協力や、出展者の商談・PR等の促進支援
- ③各県等による訪台観光キャラバン隊に対する便宜供与
- ④会員の宣伝媒体の配布及び民芸品の展示によるPRの促進
- ⑤国際会議誘致業務への協力
- ②台湾における海外旅行動向需要等の情報収集

3. 行催事への後援・協賛等

各種観光関連行催事を支援するため、次のとおり行催事への後援・協賛等を行った。

行 催 事 名	申 請 者	名 義
第14回京都五花街合同伝統芸能特別公演	(財)京都伝統伎芸振興財団	後援
第32回「京の夏の旅」事業	(社)京都市観光協会	〃
第19回観光英語検定試験	(財)専修学校教育振興会、全国語学ビジネス観光教育協会	〃
ウインターリゾート2008	ウインターリゾート実行委員会	〃
山形県の観光と物産展(名古屋名鉄展・日本橋三越展)	山形県の観光と物産展実行委員会	〃
第11回青森県の物産と観光展(高島屋岡山店)	青森県	〃
第10回青森県の観光と物産展(沖縄)	(社)青森県物産協会	〃
鳥羽みなとまつり大会	鳥羽みなとまつり大会実行委員会	〃
第24回飛騨高山観光大学	飛騨高山観光大学実行委員会	〃
第23回新宿御苑・森の薪能	新宿区観光協会	〃
第60回秦野たばこ祭	秦野たばこ祭実行委員会	〃
平成19年度観光に関する研究振興事業	(財)アジア太平洋観光交流センター	〃
第42回京の冬の旅	(社)京都市観光協会	〃
平成19年度百万にここホスピタリティ運動	(社)北九州市観光協会	〃
平成19年度通訳案内士研修事業	(社)日本観光通訳協会	〃
第51回秦野丹沢まつり	秦野丹沢まつり実行委員会	〃
ふるさと全国県人会まつり2007	読売新聞中部支社	〃
ツアーエキスポ2007	(社)大阪国際見本市委員会	〃
旅行地理検定	旅行地理検定協会	〃
第5回地産地消日本の秋大収穫祭～ふるさとの味へ帰ろう～	スロータウン連盟	〃
第8回千葉観光文化フォーラム	(社)千葉市観光協会	〃
ふるさとアンテナショップめぐりキャンペーン	京王電鉄(株)	〃
全国商工会議所観光振興大会2007	日本商工会議所	〃
第5回国内観光活性化フォーラム	(社)全国旅行業協会	〃
KING KALAKURA "THE MERRIE MONARCH" 伊香保	(社)伊香保温泉観光協会	〃
ハワイフェスティバル		〃
第2回高校生ホスピタリティコンテスト	学校法人トラベルジャーナル学園	〃
アウトドア2007-日本オートキャンプショー-	(社)日本オート・キャンプ協会	〃
産業観光フォーラム	名古屋商工会議所	〃
第2回中部広域観光シンポジウム	中部広域観光推進協議会	〃
きりたつぷ湿原花フェア2007・浜中うまいもん市	浜中町観光協会	〃
第29回全国鉄道民謡連盟全国大会	全国鉄道民謡連盟	〃
日本風景街道シンポジウム	国土交通省	〃
新宿から世界にメッセージ・これぞ日本の祭り	東京新宿・日本の祭り実行委員会	〃
歴史の道「会津下野街道をゆく」	下郷町あるもの探し実行委員会	〃
gコンテンツ・ワールド2007	(財)日本情報処理開発協会	〃
福岡自動車博覧会	福岡自動車博覧会実行委員会	〃
韓国の観光カリスマ出版記念講演会	インター・パシフィック・ブリッジ社	〃
愛知の観光展	(社)愛知県観光協会	〃
第1回観光経済国際シンポジウム	国土交通省	〃
第1回松山の物産と観光展	松山市、(財)松山観光コンベンション協会	〃
第5回全国ほんもの体験フォーラムinおきなわ	(財)沖縄観光コンベンションビューロー	〃
第1回Forsta国際セミナー	NPO法人日本森林管理協議会	協賛
キャンピング&RVショー2008	日本RV協会	〃
中部広域観光セミナー	中部広域観光推進協議会	〃
観光・集客サービス産業創造フォーラム2008	特定非営利活動法人サービス産業振興機構	〃
第1回産業観光国際セミナー	国土交通省	〃
平成19年全国暴力追放運動中央大会	警察庁・全国暴力追放運動推進センター	〃
第36回国際ホテル・レストラン・ショー	(社)日本能率協会	〃
SPAフェスタ2007	(社)日本経営協会	〃
エコ・グリーンテック2007	エコ・グリーンテック実行委員会	〃

行 催 事 名	申 請 者	名 義
第50回旅と温泉展	(社)日本温泉協会	協力
首都圏広域地方計画シンポジウム	国土交通省	"
環境衛生週間	環境省	"
第3回日本イベント大賞	(社)日本イベント産業振興協会	"
女将・イン・タイランド	(財)日本ホテル教育センター	"
第15回地域伝統芸能全国フェスティバルまつもと	(財)地域伝統芸能活用センター	主催
第7回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会まつもと	(財)地域伝統芸能活用センター	協賛
第61回全国レクリエーション大会	(財)日本レクリエーション協会	"
第40回日本観光祈願祭	(社)伊勢市観光協会	後援
平成19年度新日本観光写真展 (※)	(財)日本交通文化協会	"
第47回新潟県菊花展覧会 (※)	新潟県菊花連盟	
平成19年度東京都観光菊花大会 (※)	東京都	
第48回全国推奨観光土産品審査会 (※)	日本商工会議所、全国観光土産品連盟	
第50回岡山県後楽園菊花大会 (※)	岡山県	
第43回社団法人全日本菊花連盟全国大会 横須賀市制100周年記念大会 (※)	神奈川県、横須賀市	
おぢや牛の角突き (※)	小千谷観光協会	

※は、当協会会長賞、記念品等を授与

4. 関係機関連絡会議の開催等

(1) 観光関係団体事務局長会議（一水会）の開催

観光関係団体の情報交流のため、観光関係団体事務局長会議（一水会）を開催した。

構成：観光関係全国団体 26団体

(社) 国際観光施設協会	(社) 国際観光日本レストラン協会
(社) 国際観光旅館連盟	(社) 全国農協観光協会
(社) 全国旅行業協会	(社) 全日本シティホテル連盟
(社) 日本オート・キャンプ協会	(社) 日本温泉協会
(社) 日本海外ツアーオペレーター協会	(社) 日本観光通訳協会
(社) 日本観光旅館連盟	(社) 日本ツーリズム産業団体連合会
(社) 日本添乗サービス協会	(社) 日本ホテル協会
(社) 日本ホテルパーメンズ協会	(社) 日本民宿協会
(社) 日本旅行業協会	(財) 国際観光サービスセンター
(財) 地域伝統芸能活用センター	(財) 日本交通公社
(財) 日本修学旅行協会	(財) 日中青少年旅行財団
(財) 日本ナショナルトラスト	(財) 日本ホテル教育センター
(株) ジェイティービー	(社) 日本観光協会

(2) 他の機関が開催する諸会議への参加、協力

地域の観光振興を推進するため、他の機関が開催する次の諸会議に参加、協力した。

- ①中央日本観光協議会（関東各県、山梨県）
- ②エコツーリズム推進協議会
- ③国際テーマ地区推進協議会

(3) 関係機関の事業促進についての参加・協力

当協会役員等が、政府・公共団体並びに観光団体等の役員・委員等に就任し、それぞれ当該機関の業務の推進を通して、観光事業の振興に努めた。

Ⅱ 観光施策推進事業

1. 旅フェア実行委員会事務局の運営等（一部全国広域観光振興事業）

当協会内に旅フェア2007事業実施のため旅フェア実行委員会事務局を設置し、その運営に当たった。また、旅フェア2007の開催に向け、その準備を進めた。

(1) 「旅フェア2007」事業の実施

① 「旅フェア2007」実施内容

- 1) 主 催：旅フェア2007実行委員会
- 2) 後 援：国土交通省、総務省
- 3) 場 所：千葉県千葉市 幕張メッセ 展示ホール9、10
- 4) 会 期：「一般公開日」 平成19年4月20日（金）～22日（日）
「ビジネスデー」 平成19年4月19日（木）
- 5) 併 催：電気のふるさと新じまん市／主催：財団法人電源地域振興センター
平成19年4月20日（金）～22日（日）
- 6) 出展者：125団体 274小間
都道府県・市町村・観光関連企業・団体等 89団体・企業 241小間
飲食・物産販売関係等 36団体・企業 30小間
- 7) 来場者：158,869人

③ Yokoso! Japanトラベルマート2007春（国庫受託事業）

旅フェア2007の開催にあわせ、ビジット・ジャパン・キャンペーンの対象国を中心とした旅行会社を招請し旅フェア2007の出展者との間で個別商談を行う「Yokoso! Japanトラベルマート2007春」とトラベルマートに参加する訪日旅行商品造成担当者を対象とした「ファムトリップ」を実施し、訪日観光客の増大を図った。また、訪日教育旅行の拡大に関するシンポジウムを実施した。

- 1) 主 催：Yokoso! Japanトラベルマート2007春実行委員会
- 2) 日 時：平成19年4月19日（木）、20日（金）
- 3) 会 場：千葉市幕張メッセ 展示ホール9
- 4) 参加者：海外旅行会社：83社・97名、海外メディア1社
日本側：254団体・企業

(2) 「旅フェア2008」の開催準備

旅フェア実行委員会を開催し、旅フェア2008の開催についての準備を進めるとともに、Yokoso! Japanトラベルマート2008の検討を行った。

- 1) 名 称：日本観光博覧祭 旅フェア2008
- 2) 会 期：一般公開日 平成20年6月20日（金）から22日（日）までの3日間
ビジネスデー 平成20年6月19日（木）
- 3) 会 場：横浜市 パシフィコ横浜
- 4) 第1回旅フェア実行委員会の開催
日 時：平成19年12月10日（月）
場 所：グランドプリンスホテル赤坂

2. 観光地づくりの推進事業

(1) 優秀観光地づくり顕彰・普及事業（全国広域観光振興事業）

積極的かつ効果的に観光振興事業を続け、他の地域の参考となるような観光地づくりの成果を生みだしている団体を表彰し、全国に広報することによって、観光地づくりの推進を図った。

①第14回優秀観光地づくり賞受賞団体の広報（再掲）

第14回優秀観光地づくり賞受賞団体については旅フェア2007の開会式（千葉市幕張メッセ）において下記の5団体を表彰した（応募総数16団体）。当該団体の活動事例集を作成したほか、機関誌季刊観光や観光まちづくりニュースで受賞団体の紹介記事の掲載などの広報を行った。

【金賞・国土交通大臣賞】	彦根市（滋賀県）
【金賞・総務大臣賞】	三島市（静岡県）
【(社)日本観光協会会長賞】	曾爾村（奈良県）
	高梁市（岡山県）
	山鹿温泉観光協会（熊本県）

②第15回優秀観光地づくり賞の募集並びに選考

10月中旬で募集を締切、書類審査、現地調査、学識経験者、観光関係者、後援者等のメンバーによる選考委員会を経て、下記の5団体を受賞団体として決定した。（応募団体14団体）

【金賞・国土交通大臣賞】	下呂温泉旅館協同組合（岐阜県）
【金賞・総務大臣賞】	桜川市（茨城県）
【(社)日本観光協会会長賞】	村上町屋商人会（新潟県）
	郡上八幡観光協会（岐阜県）
	たつの市（兵庫県）

(2) フラワーツーリズムの推進

①花の観光地づくり大賞（再掲）（日本宝くじ協会助成事業）

花による観光地づくりを推進し、地域の観光に寄与している全国の市町村や団体等で最も優れた実績と将来計画を有するものに対し、「花の観光地づくり大賞」を授与するとともに、すぐれたデザインのプランターを贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

なお、花の観光地づくり大賞表彰式は平成20年1月18日（金）開催の「着地から考えるニューツーリズムセミナーIn三島」で行った。

②フラワーサーリズム推進協議会理事会の開催

- 1)開催日：平成19年6月1日（金）
- 2)開催地：東京都千代田区

③花の観光地づくり賞受賞団体等の概要を収録したCD-Rの作成、配布

受賞団体や地域の概要等を収録したCD-Rを作成、旅行会社やマスコミ等に配布し、旅行商品化等を支援した。

(3) 産業観光の推進事業（全国広域観光振興事業他）

近年、全国的に産業観光が注目され、伝統的な産業、近代産業を問わず、今後の我が国における新たな観光の可能性を切り開くものとして、着実な取組が必要となっている。

このため、地域での産業観光に対する取り組みや旅行商品化等を促進するため、産業遺産等未使用資源の発掘や事例収集調査及び産業観光推進会議における推進方策の検討等を行うとともに、全国の産業観光を推進している地域や関連企業等が一堂に会する「全国産業観光フォーラム」等を地方自治体等と連携して開催した。

①全国産業観光フォーラムin会津若松2007の開催

- 1)開催日：平成19年10月26日（金）～27日（土）
- 2)開催地：福島県会津若松市
- 3)テーマ：「伝統と先端技術が交錯するまち」
- 4)主催：全国産業観光フォーラムin会津若松2007
(社団法人日本観光協会、会津若松市他13団体・企業)
- 5)参加者：400名

②第3回産業観光ワークショップinやまぐちの実施

- 1)開催日：平成19年7月18日（水）～19日（木）
- 2)開催テーマ：「産業観光の可能性と商品価値」
- 3)主催：(社)日本観光協会、全国産業観光推進協議会、山口県
- 4)参加者：100名
- 5)内容：現地視察・勉強会（山口県内）
 - Aコース「秋吉石灰岩の恵み」
 - Bコース「石炭イノベーション」
 - Cコース「粘土が支えた暮らし」
 - Dコース「水にまつわるエトセトラ」全体報告会（山口県宇部市「宇部市文化会館」）

③全国産業観光推進協議会理事会の開催

- 日時：平成19年6月1日 15:00～16:30
場所：東京都千代田区 ルポール麹町「ガーネット」

④産業観光推進会議

1)第1回産業観光推進会議

- 日時：平成19年5月16日（水）14:00～16:00
場所：東海旅客鉄道(株)品川ビル会議室
議題：
 - ・産業観光推進会議の今後の運営について
 - ・産業観光関係政策等関連動向について
 - ・産業観光推進会議の本年度の活動と論点について

2)平成19年度第2回産業観光推進会議

- 日時：平成19年10月18日（木）10:00～12:00
場所：東海大学校友会館 富士の間
議題：
 - ・産業観光関係省庁の政策
 - ・産業文化財をまちづくりに活用する事例における課題、論点について
 - ・産業観光まちづくり大賞について

(4) ヘルスツーリズムの推進（全国広域観光振興事業）

健康増進を目的とするヘルスツーリズム及びそれに伴う長期滞在型旅行をテーマとした新たな観光形態について平成18年度に取りまとめた報告書「ヘルスツーリズムの推進に向けて」を活用し、本年度は、セミナー等を通じてヘルスツーリズムの普及、PR等の活動を行った。

①ヘルスツーリズムに関するセミナー、説明会等の実施

1) 旅フェア時のニューツーリズムセミナー

日 時：4月19日(木)

場 所：千葉県千葉市 幕張メッセ

講 師：佐藤博康 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科長・教授

2) 日本観光協会通常総会でのヘルスツーリズムセミナー

日 時：6月13日(水)

場 所：東京都港区 東京プリンスホテル

講 師：西村孝司 北海道大学遺伝子病制御研究所教授

3) 道府県、観光関連団体向けヘルスツーリズム説明会

日 時：6月25日(月)

場 所：東京都港区 都道府県会館

講 師：宮地正典 特定非営利活動法人健康保養ネットワーク常務理事

4) (社)秋田県観光連盟主催「団塊世代の誘客セミナー」

日 時：10月19日(金)

場 所：秋田県秋田市 秋田県第2合同庁舎会議室

講 師：永里恒昭 (社)日本観光協会常務理事

宮地正典 特定非営利活動法人健康保養ネットワーク常務理事

5) 秋田県平鹿地方振興局主催「健康増進型観光フォーラム」

日 時：11月19日(月)

場 所：秋田県美郷町 名水市場湧太郎 國の譽ホール

講 師：西村孝司 北海道大学遺伝子病制御研究所教授

6) 伊勢鳥羽志摩健康サービス推進協議会・三重県主催「健康ツーリズムセミナー」

日 時：11月28日(水)

場 所：三重県鳥羽市 鳥羽市民文化会館

講 師：宮地正典 特定非営利活動法人健康保養ネットワーク常務理事

7) (社)ひょうごツーリズム協会主催「ヘルスツーリズムセミナーInひょうご」

日 時：1月16日(水)

場 所：兵庫県神戸市神戸夙川学院大学

講 師：宮地正典 特定非営利活動法人健康保養ネットワーク常務理事

鷺尾裕子 (社)日本観光協会事業推進部国内チームリーダー

8) (社)福井県観光連盟第2回通常総会記念事業「ヘルスツーリズムセミナー」

日 時：3月19日(水)

場 所：福井県福井市国際ホール

講 師：伊藤博康 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科長

②ヘルスツーリズム先進事例集の作成

ヘルスツーリズムの先進地事例について国内事例10事例、海外事例3事例程度の取り組みの経過や概要、今後の課題等をまとめたものを作成した。

(5) 着地型旅行の推進（全国広域観光振興事業）

当協会が主催する優秀観光地づくり賞、花の観光地づくり大賞を受賞した地域等を対象とした「着地から考えるニューツーリズムセミナーin三島」を開催し、旅行商品の造成やメディアの活用等、効果的な誘客促進手法について、旅行会社やメディア関係者のアドバイスを受けながら検討を進めた。

①日 時：平成20年1月18日（金）

*18日、19日には現地視察を実施

②場 所：静岡県三島市 三島商工会議所

③参加者：120名

④分科会テーマ

- 1) 着地型旅行の効果的な情報発信
- 2) 広域連携で取り組む着地型旅行
- 3) 協働でつくる着地型旅行

(6) 自動車旅行推進事業

自動車旅行に対するこれからの情報提供等各種事業の検討を行うとともに、平成19年4月「自動車旅行推進（カーたび）機構」を設立、広報部会、フォーラム部会、コンテンツ・データベース部会、調査研究部会、旅行商品部会の5つの部会を設置し、自動車旅行の促進を図った。

①広報活動

1) 各種大型イベントへの参加

・旅フェア2007ブース出展

期 間：2007年4月19日（木）～22日（日）

場 所：幕張メッセ

・第40回東京モーターショーブース出展

期 間：2007年10月24日（金）～11月11日（日）

場 所：幕張メッセ

2) メディアへのPR等

3) 自動車旅行推進機構ホームページでの周知

<http://www.car-tabi.jp/>

②フォーラム開催

1) 第1回カーたび・フォーラム

日 時：平成19年7月24日（火）

場 所：東京都港区 博報堂第1大会議室

テーマ：カーたびを取り巻く現状と将来

2) 第2回カーたび・フォーラム

日 時：平成19年9月20日（木）

場 所：東京都港区 博報堂第2大会議室

テーマ：政府におけるカーたびに関連する施策について4) プログラム

3) 第3回カーたび・フォーラムin東京モーターショーシンポジウム2007

日 時：平成19年11月2日（金）

場 所：東京モーターショーシンポジウム2007

(7) 観光地域振興支援事業（全国広域観光振興事業）

全国で観光による地域づくりに取り組んでいる地域を対象に、その地域におけるテーマや課題に対する今後の方向性をとりまとめることにより、地域における観光振興を推進する人材の技術向上を図るとともに、観光振興による地域づくりを促進する。具体的には、道府県を通じ、実践的な観光地域づくりを実施しようとしている地域などを選定し、現地調査、アンケート調査等による現状把握に基づき、今後の観光による地域活性化の方向性をとりまとめた。

(8) 地域要望に基づく地域への協力事業（全国広域観光振興事業）

全国の観光振興に取り組んでいる地域を対象に、その地域独自のテーマや課題にふさわしい事業を、地域自らの要望・提案に基づき実施することにより、地域の観光の推進を支援した。

支 部	内 容
北海道	VJC海外マスメディア招聘事業
東 北	東北観光情報フォトCD作成事業
関 東	関東ブロック観光マップ作成事業
中 部	外国語による広域観光宣伝資料作成事業
関 西	「ほんまにええとこ関西 春の観光展」開催事業
中 国	YOKOSO! JAPAN トラベルマート秋出展事業
四 国	「四国八十八ヵ所案内」四国観光地図改訂版作成事業
九 州	産業観光関連マップの作成事業

(9) 観光地緊急支援事業（全国広域観光振興事業）

石川、新潟県から要請により下記の風評被害払拭に重点を置いた支援事業を行った。

①能登半島地震支援事業

中部の観光を考える百人委員会の開催に合わせ、百人委員会委員、中部広域観光推進協議会関係者、首都圏・中部圏・関西圏旅行社150名が参加し、今後の支援策を検討するとともに、旅行会社関係者による復興状況の現地視察を行い、旅行会社等に対する旅行商品の造成支援を行った。

1) 日 時：7月12日（木）～13日（金）

2) 場 所：石川県金沢市・金沢全日空ホテル

②新潟県中越沖地震風評被害対策事業

「にいがた食の陣」や各地の「雪祭り」などのイベントを紹介しながら、雪見と温泉、冬の味覚といった新潟の冬の魅力を前面に押し出した誘致ポスター1000枚を製作し、首都圏JR駅構内において平成20年1月から2月にかけて掲出した。

また、下記のモニターツアーを実施した。

1) 一般モニターツアー

日 時：平成20年3月26日（水）～28日（金）

旅行先：長岡市、柏崎市、村上市、新発田市、新潟市

2) マスコミ視察会

日 時：平成20年3月14日（金）～16日（日）

旅行先：長岡市、弥彦村、新潟市、村上市、新発田市

3. 訪日外客誘致の促進に関する諸施策の推進

(1) 海外観光展への参加・調整事業（全国広域観光振興事業他）

ビジット・ジャパン・キャンペーンの重点市場である台湾市場において、道府県のディスティネーションの最も魅力的な部分に焦点を当てて道府県の観光魅力を積極的にPRを行うとともに、台湾側の旅行会社や航空会社、マスコミ等に対し、随時、道府県の観光パンフレット等を提供し、旅行商品造成支援を行った。

①台北国際旅行博への出展

台湾観光協会が主催する台北国際旅行博（ITF2007）の機会において日本ゾーンを形成するとともに、国の委託を受けてビジット・ジャパン・キャンペーンブースを出展し、日本の最新の観光情報の提供、伝統芸能等の実演など誘致宣伝活動を行った。

- 1) 期間：2007年12月14日（金）～17日（月）
- 2) 場所：台北市 台北世界貿易センター
- 3) 参加国：62カ国
- 4) 来場者：193,973人

②高雄旅行展への出展（国庫受託事業）

台湾の第2の都市である高雄市で高雄旅行展（KTF）が開催される機会に、ビジット・ジャパン・キャンペーンを周知するとともに現地旅行社、マスコミ向けに夏期旅行商品、個人旅行商品等、訪日旅行促進のための説明会を開催し、PRを行った。

- 1) 期間：平成19年5月3日（木）～15日（日）
- 2) 会場：高雄市 高雄工商展覽センター
- 3) 入場者：111,997人

③2008台湾ランタンフェスティバルへの出展

台湾政府が主催するランタンフェスティバルに出展し日本各地の魅力及びビジット・ジャパン・キャンペーンのPRを行った。

- 1) 期間：平成20年2月21日（木）～3月2日（日）
- 2) 場所：台南県 南部科学工業園L&M特定区、Solar City新市鎮

(2) 台湾等との観光交流促進事業（全国広域観光振興事業）

日本にとって重要な観光マーケットである諸外国、特に台湾等との間で交流事業を促進するため、台湾事務所を現地事務所として都道府県及び市町村や観光協会が台湾市場に向けて行う観光情報の発信や観光宣伝事業を支援するとともに、都道府県や広域ブロックが観光宣伝誘致活動を円滑に実施できる土台作りとなる事業を実施した。

なお、台湾事務所においては、訪日外客誘致のための次の各種誘客事業を実施した。

- 1) 訪日旅行者の利便促進のための情報提供事業
- 2) 台湾への日本人旅行者に対する安全及び事故防止に関する情報提供事業
- 3) 台湾の旅行市場、観光事業等調査事業
- 4) 台湾観光関係当事者との情報交換及び連絡
- 5) その他

(3) ビジット・ジャパン・キャンペーンに関する事業の推進（全国広域観光振興事業他）

平成15年度よりビジット・ジャパン・キャンペーンが国の施策として大々的に実施されていることから訪日外国人観光客1000万人の達成に向け、効果的な外国人観光客誘致のための事業を実施した。

①日台観光交流促進会の開催

台北国際旅行博への出展の機会を捉え、ビジット・ジャパン・キャンペーン事業を積極的に展開するため日本側及び台湾側の観光関係企業・団体等のトップの方々を招き、日台観光交流促進会を開催し、日台間の交流をさらに促進するとともに、訪日旅行の促進を図った。

1) 日 時：平成19年12月13日（木）

2) 場 所：シェラトンホテル台北

②2008日台観光サミットの開催

日台間の観光交流は2008年より日本側のインバウンド施策「ビジット・ジャパン・キャンペーン」に加え、アウトバウンド施策としての「ビジット・ワールド・キャンペーン」が、一方、台湾側では「台湾旅行年2008～2009」といったインバウンド施策が新たに開始される。このような中、さらなる日台間の相互交流を図るため、日台双方の航空会社、旅行会社等のトップレベルの意見交換の場を設け2010年に相互交流300万人を目標とする日台観光サミット宣言を採択した。

1) 日 時：平成20年3月10日（月）

2) 会 場：台北市 圓山大飯店

3) 参加者：日本側33名、台湾側43名

③訪日旅行促進台湾セミナーの開催

1) 日 時：平成20年11月30日（金）

2) 会 場：東京都港区 虎ノ門パストラル

3) 参加者：80名

④台湾向けウェブサイト構築・運営及び情報提供事業

台湾からの旅行者の増加促進を図るため、台湾人旅行者のニーズの高い日本国内の季節情報や訪日旅行の動機付けとなる情報を提供した。

⑤台湾個人旅行者の訪日旅行促進のための旅行商品販売支援事業（国庫受託事業）

台湾においては、日本への関心が非常に高く、平成19年には訪日旅行者数が139万人に達した。今後、さらに訪日旅行者数を増加促進を図るためには、これまでにない新たな観光地、観光素材での訪日旅行商品の造成を支援していく必要がある。以上のようなことから平成19年度は、台湾の運転免許による日本国内での運転解禁にあわせ、ドライブ観光をテーマとした訪日旅行商品の造成、販売支援を行うなど、新たな観光需要の掘り起こしを図った。

⑥インセンティブツアー造成事業（国庫受託事業）

インセンティブツアー増加促進を図るため、現地説明会を実施するとともに、同ツアー取扱旅行会社等を招請し、商談会を開催した。

1) 現地説明会の開催

日 時：平成19年6月22日（土）

会 場：台北市 台北国賓大飯店

参加者：日本側28団体52名、台湾側33社46名

2) 台湾側旅行会社の招請及び商談会の開催

期 間：平成19年10月22日（月）～26日（金）

コース：東京都、長野県、群馬県

⑦訪日台湾教育旅行関係者招請事業（国庫受託事業）

近年、日台間で交流が進みつつある学生・学校間の交流「教育旅行」を普及させることにより、若年層を対象とした今後の需要の開拓やリーダーの創出に繋げ、台湾からの訪日教育旅行の促進を図った。

1) 台湾での現地説明会の開催

・台北地区

期 日：平成19年6月22日（土）

会 場：台北市 台北国賓大飯店

参加者：日本側22団体39名、台湾側33校43名

・台中地区

期 日：平成19年6月21日（金）

会 場：台中市 長栄桂冠酒店

参加者：日本側16団体26名、台湾側24校24名

・高雄地区

期 日：平成19年6月20日（水）

会 場：高雄市 国賓大飯店

参加者：日本側16団体26名、台湾側37校40名

2) 日台教育旅行交流座談会の開催

期 日：平成19年9月7日（金）～8日（土）

会 場：大阪府泉佐野市 ホテル日航関西空港

参加者：台湾側 校長・教師80名、政府・教育関係者5名

行 程：9月7日 交流座談会・懇親会

9月8日 大阪近郊視察3コース

4. 観光を考える百人委員会（全国広域観光振興事業）

域内外の有識者や観光関係者等の幅広い分野から参加を得て連携して観光振興を図るために必要な諸方策について検討・提言を行うため、「百人委員会」を開催した。

①第9回中部の観光を考える百人委員会総会

1) 日 時：平成19年7月12日（木）

2) 場 所：石川県金沢市

3) 参加者：150名

②第8回中国地方の観光振興を支援する百人委員会

1) 日 時：平成19年11月12日（月）

2) 場 所：山口県萩市

3) 参加者：138名

③四国の観光を考える百人委員会地域フォーラム／新四国創造フォーラム

1) 日 時：平成20年2月7日（木）

2) 場 所：徳島県徳島市

3) 参加者：139名

5. 中部地域における国際観光交流推進事業

「愛・地球博」基本理念継承発展事業資金の配分金により、中部地域における国際観光交流推進事業を実施した。（交付先：中部広域観光推進協議会）

Ⅲ 広報宣伝事業

1. 各種コンクール事業

(1) 日本観光ポスターコンクールの実施

観光ポスターの質的向上をめざして、毎年「日本観光ポスターコンクール」を実施している。平成18年度に制作されたポスターについて優秀作品を決定した。

- ①応募締切:19年3月31日
- ②審査日:19年4月10日
- ③応募点数:327点(232組)
- ④審査員:専門審査員

小谷 育弘 武蔵野美術大学教授
 加藤 タキ コーディネーター
 北山 孝雄 (株)北山創造研究所代表、プロデューサー
 他に主催、後援、協賛団体各審査員

<平成19年度(第57回)日本観光ポスターコンクール受賞作品>

作 品 名	受 賞 団 体
十二枚の農村力	池田町(福井県) 【金賞/国土交通大臣賞】
黎明、邂逅	桜井市 【銀賞/JRグループ賞】
富良野・美瑛 ～夏、富良野・美瑛～冬	富良野美瑛広域観光推進協議会(北海道) 【銀賞/国際観光振興機構理事長賞】
鳥取千年往来	鳥取県 【銀賞/国際観光旅館連盟会長賞】
千二百歳。久保桜	長井市観光協会 【銀賞/日本観光旅館連盟会長賞】
熊本県イメージポスター こんなところに行ってみたいなあ…	(社)熊本県観光連盟・熊本県 【銀賞/日本交通公社会長賞】
おのみち観光ポスター 蕨を争う、紫陽花のころ	尾道市 【銀賞/日本交通文化協会理事長賞】
東北シリーズ 冬「大沢温泉」	東日本旅客鉄道(株)東京支社 【銀賞/日本観光協会会長賞】
めくもりの田舎	清内路村(長野県) 【特別賞】
「舞う麦畑」	(社)美瑛町観光協会(北海道) 【特別賞】
石狩市観光ポスター「鮭鱈史」	(社)石狩観光協会(北海道) 【特別賞】

(2) 優秀観光地づくり顕彰・普及事業(全国広域観光振興事業)

積極的かつ効果的に観光振興事業を続け、他の地域の参考となるような観光地づくりの成果を生みだしている団体を表彰し、全国に広報した。

【金賞・国土交通大臣賞】 彦根市(滋賀県)
 【金賞・総務大臣賞】 三島市(静岡県)
 【(社)日本観光協会会長賞】 曾爾村(奈良県)
 高梁市(岡山県)
 山鹿温泉観光協会(熊本県)

(3) 花の観光地づくり大賞（日本宝くじ協会助成事業）

花の観光地づくりを推進し、地域の観光に寄与している全国の市町村や団体等で最も優れた実績と将来計画を有するものに対し、「花の観光地づくり大賞」を決定、広報をするとともに、すぐれたデザインのプランターを贈呈し、「花の観光地づくり」を支援した。

<平成19年度受賞団体一覧>

賞	応募団体名	地域
大賞	四季彩の丘	北海道上川郡美瑛町
	椎野あじさい組合	宮崎県東臼杵郡美郷町
フラワーツーリズム賞	下妻市	茨城県下妻市
	NPO法人幸手権現堂桜堤保存会	埼玉県幸手市
	城殿町霏月会	奈良県橿原市城殿町
	カキツバタの里づくり実行委員会	広島県山県郡北広島町
審査員特別賞	花しょうぶ通り商店街振興組合	滋賀県彦根市
奨励賞・花の触れ合い賞	礼文町高山植物園	北海道礼文郡礼文町
	相川花の会	新潟県佐渡市
	善兵衛桜を守る会	岐阜県郡上市
	弁財天石楠花の丘(弁財天自治会)	奈良県宇陀市
奨励賞・花の彩り賞	チューリップ街道実行委員会	富山県砺波市
	みさとチューリップの会	和歌山県海草郡紀美野町
	まんのう町	香川県仲多度郡まんのう町
奨励賞・花の賑わい賞	滝川市	北海道滝川市
	塙町	福島県白川郡塙町
	鴻巣市	埼玉県鴻巣市
	駒ヶ根市	長野県駒ヶ根市
努力賞	田村市	福島県田村市
	保和苑周辺史跡観光連絡協議会	茨城県水戸市
	新座市	埼玉県新座市
	飯山市	長野県飯山市
	岐礼桜会	岐阜県揖斐郡揖斐川町
	高梁市	岡山県高梁市
	社団法人大分県農業農村振興公社 大分農業文化公園管理事務所	大分県杵築市

(4) 産業観光まちづくり大賞の実施

産業観光（産業遺産や現在稼働している産業施設等を活用した観光）による観光まちづくりを実践し、他の地域の模範となる地域を表彰する制度として平成19年度より創設し、本年度は下記の3団体を決定、広報した。

【金 賞】(財)名古屋観光コンベンションビューロー

～産官連携による産業観光バスのビジネスモデル構築～

【銀 賞】釧路市

～漁業・炭坑・製紙などの基幹産業を活用した産業観光～

【特別賞】宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会

～CRSを魅せる産業観光の推進～

2. 広報宣伝の実施

(1) 協会ウェブサイト等による広報

会員をはじめとする観光関係者に対し、電話やファックスにより広報を行うとともに協会ウェブサイトを通じて広報を行った。また、ウェブサイト「全国旅そうだん」により観光情報を一般消費者に伝え観光旅行の促進を図るため情報を収集、提供した。

(2) マスコミへの情報提供

テレビやラジオといったマスコミに対し、随時、問い合わせ等に対応するとともに、定期的に下記に対しては情報提供を行い、番組づくり等を支援した。

- ①テレビ：NHK、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京、関西テレビ
- ②ラジオ：NHK、文化放送
- ③新聞：朝日新聞
- ④その他：日本文字放送

(3) 国内観光需要喚起キャンペーン事業（全国広域観光振興事業）

国内旅行需要を掘り起こすための「国内観光需要喚起キャンペーン（旅キャン!）」を航空会社、鉄道会社、旅行会社、地方自治体や観光協会等のデスティネーションキャンペーン等と連携し、ウェブサイトを中心に展開するとともに、旅行商品の造成や販売を支援した。

①国内観光需要喚起キャンペーン（旅キャン!）キックオフセミナーの開催

4月に開催した旅フェアビジネスデーにキャンペーンの概要を紹介するセミナーを開催し、業界関係者にキャンペーンを周知した、

②国内観光需要喚起キャンペーン（旅キャン!）説明会の開催

航空、鉄道、旅行会社等に対するキャンペーンの説明会を開催した。

日 時：平成19年6月19日（火）

場 所：東京都中央区

③キャンペーンサイト（旅キャン：<http://www.tabi-cam.jp>）の構築・運営

(3) 観光による地域振興支援に係る広報事業（日本宝くじ協会助成事業）

観光を地域振興、地域活性化の柱として様々な施策を行っている市町村及び観光協会を支援するため、平成19年度から、国や業界の動向、国土交通省、総務省をはじめとする各省庁の観光振興補助事業等の紹介、新たな観光魅力の創出の事例等の情報等を提供する広報紙「観光まちづくりNEWS」を発行した。

- ①規 格：A4版 4頁 4色刷
- ②発行部数：3000部（都道府県・主要市町村及び観光協会）
- ③発行回数：年6回

IV 観光情報の収集・提供事業

1. 総合観光情報の体系的整備事業

地域別に、「全国観光情報データベース」の更新業務を、都道府県観光協会（連盟）、市町村の協力を得て行った。

すべての都道府県について蓄積されたデータの主要項目について市町村別に調査票として出力し都道府県観光協会（連盟）、市町村の協力を得て、追加、削除、修正を行って最新情報の収集を図った。

2. 全国地域観光情報の提供事業（全国広域観光振興事業）

全国地域観光情報センターを通じて、ホームページを中心に情報発信を行うとともに、NTTドコモのiモード、KDDI auのEZweb、NTT東西日本のLモードサービスへの観光情報の提供も継続して実施し、一般消費者に「いつ、どこにいても、ほしいときに、ほしい観光情報」を提供する体制の整備を進めた。

（1）全国地域観光情報センターの運営

①「全国旅そうだん」へのデザインリニューアル

平成18年度に引き続き、19年度も統一されたイメージで全国旅そうだんを運営している。全国地域観光情報DB検索においては検索機能の追加、特集については季節観光特集の充実を図った。

②全国地域観光情報データベースの検索

新しくフリーワード検索及びカテゴリー検索を追加した。また、所在地が近い、名称が類似するといった物件同士を同時に閲覧できるよう、関連情報ボタンを設置した。

③季節特集コンテンツの追加

当協会が独自に収集している季節情報（花の開花情報、花火大会情報、味覚狩り情報、紅葉情報、積雪情報、初詣・初日の出情報、桜開花情報等）について、継続して提供を行った。また、桜の特集頁においては、旅そうだんの桜物件情報と都道府県の桜開花情報サイトをリンクし、利用者により多くの情報を提供した。

④観光トピックスコーナー等の活用

簡単な入力フォームで投稿できるトピックスコーナーを引き続き運用している。また、RSS（RDF Site Summary）を活用し、都道府県や市町村が発信する観光ブログを自動的に収集し、当協会の観光ブログサービス「旅じまん」に反映した。

⑤アンケート調査の実施

道府県等からの要請に応じ、一般観光客を対象とした当該地域についてのアンケート調査を実施した。平成19年度は、18年度に引き続き、特集記事と連動させたインターネット利用者が選ぶランキング調査及びアンケート調査を実施した。

- | | | |
|-----------------------|---------------|----------|
| 1) お花見に関するアンケート調査 | 3月28日～4月27日 | 標本数1,699 |
| 2) 紅葉に関するアンケート調査 | 10月26日～11月25日 | 標本数1,467 |
| 3) スキー&スノボに関するアンケート調査 | 2月22日～3月23日 | |

(2) マルチメディア型観光情報の整備

都道府県をはじめとする地域との情報の共有化を図りつつ、従来からの文字情報や画像情報（静止画）を継続して収集・整備するとともに、ブロードバンド普及に備え、動画情報を収集した。

- ①観光情報データベース構造改善による表示内容の充実
- ②画像情報の拡大
- ③緯度経度情報の拡大
- ④ASP配信によるデジタル地図データの提供と更新
- ⑤動画情報の収集
- ⑥観光ブログサービス「旅じまん」の開始

3. 観光情報関連事業

(1) 季節観光情報収集・提供事業の実施

季節毎の観光情報を都道府県観光協会・観光連盟や市町村等の協力を得て収集し、全国地域観光情報センターを通じて提供するとともに、携帯電話や携帯端末の観光情報サービス、カーナビゲーションシステム、マスコミ、旅行関係会社、団体等に情報提供を行った。

①収集提供情報の内容

祭・イベント、花の名所・開花、花火大会、紅葉の名所・色づき、スキー場積雪情報等

②季節毎の観光情報収集提供期間

- | | |
|----------------|--------------|
| ・花火大会情報提供事業 | 6月29日～9月18日 |
| ・紅葉・味覚狩り情報提供事業 | 8月30日～12月14日 |
| ・スキー情報提供事業 | 11月20日～3月31日 |
| ・年末年始情報提供事業 | 11月15日～1月31日 |
| ・桜情報提供事業 | 3月9日～5月11日 |

③情報の提供先

・マスコミ関係

NHK、フジテレビ、テレビ朝日、テレビ東京、文化放送、関西テレビ、朝日新聞、日本文字放送等

・観光関係団体、旅行会社等

日本自動車連盟、ジェイティビー、日本航空、全日本空輸、JRネットステーション

・カーナビゲーションシステム

日産自動車「カーウィング」、アルパイン向け通信ナビゲーション

・デジタル地図ソフト会社

ゼンリン、ゼンリンデータコム、インクリメントP、三井物産

・その他携帯電話情報サービス等

ウォーカープラスドットコム、パナソニックモバイルコミュニケーションズ、エクスプレス、ステルフィッシュ、日本気象協会、新日本石油、ソニースタイル、リクルート、g o o、MSN、SO-NET、パイオニアソリューションズ

(2) 観光情報システム連絡会議の開催

都道府県・指定都市及び観光協会（連盟）との連携強化と事務連絡の円滑化を図るため「観光情報システムに関する連絡会議」を下記5か所で開催した。

- | | | |
|-------------|-------|-----|
| ①北海道・東北ブロック | 5月29日 | 仙台市 |
| ②関東ブロック | 4月27日 | 東京都 |
| ③中部・関西ブロック | 5月23日 | 大阪市 |
| ④中国・四国ブロック | 5月15日 | 高松市 |
| ⑤九州ブロック | 5月18日 | 福岡市 |

V 調査研究事業

1. 研究事業

(1) 観光の実態と志向調査（日本財団助成事業）

昭和39年以来26回目となる本調査は、我が国の伝統ある観光統計調査であり、全国4,500人を対象にアンケート調査を実施し、国民の観光需要の現状と希望の特徴を把握するとともに、年次傾向を明らかにするもの。本年度は、過去1年間の宿泊旅行、今後1年間の宿泊観光旅行の志向について分析するとともに、過去のデータからの時系列分析を行った。

(2) 受託調査事業の実施

国、地方自治体及び各種団体からの委託により、次の調査・計画策定事業の打合せ・実施等を行った。

事業名	委託者
観光地域プロデューサーモデル事業	国土交通省
柏崎コレクションビレッジ再生事業	新潟県柏崎市
柏崎観光ナビ構築事業	新潟県柏崎市
柏崎七街道宝さがし事業	新潟県柏崎市
東京都観光客数実態調査事業	東京都
日帰り観光地における外国人観光客の統計調査	国土交通省
宍道湖しじみ館（仮称）基本計画策定調査	島根県松江市

(3) 観光地づくり計画手法の策定・普及事業

受託調査事業や資源づくり推進事業等を通じて、観光地づくりや観光の基礎データ等、観光に関する様々な調査。計画手法に関する研究等を行った。

1. 季刊「観光」の発行

協会の機関誌 季刊「観光」は、当協会会員をはじめ、全国の観光関係者、研究者、学識経験者、マスコミ関係者、そして観光に関心を持つ一般の消費者等、幅広い読者を持つ唯一の国内観光総合誌として評価をいただいている。

各号では、観光をめぐる最新の情報を提供するとともに、読者に関心の高いテーマを特集としてとりあげ、その分野の専門家や実務家とともに考え、事例をあげながら問題解決の方向を探った。

発行日：年4回（春号4/20、夏号7/20、秋号10/20、新年号1/31）

特集テーマ

2007年春号

特別対談：動き出した観光立国推進基本法への期待

特集：観光の新しい担い手

2007年夏号

特集：持続可能な観光を目指して

2007年秋号

特集：観光の振興と人材育成

2008年新年号

特集：国際相互交流と観光振興

2. 資料の刊行

観光に関する最新の情報やデータ、基礎的な観光資料等を提供するため、次の書籍を発行した。

(1) 数字でみる観光（2007-2008年版）

図表を中心に観光の現状をわかりやすくまとめたハンドブックで、観光の基礎的なデータを満載。
（平成19年10月発行）

(2) 全国観光動向—平成17年（度）観光客入込統計

各都道府県の観光客入込調査統計をもとに、全国各地の市町村や観光地毎の平成16年（度）の観光客数をまとめた。
（平成19年10月発行）

(3) 地域紹介・観光ボランティアガイド組織一覧（2007年版）

観光ボランティアガイドは、単に観光案内だけでなく、地域づくりに貢献するなどその重要性はますます高まっていることから、全国で活動している観光ボランティアガイド団体の組織の組織名、住所、電話番号、特色・活動内容、費用等を掲載している。
（平成19年6月発行）

(4) 観光の実態と志向（第26回）

男女全国4,500人を対象にアンケート調査を実施し、国民の観光旅行の現状と希望の特徴を把握するとともに、年次傾向を明らかにしている。昭和39年から隔年に実施してきた統計調査で、平成13年からは毎年実施している。
（平成20年1月発行）

(5) 観光実務ハンドブック

丸善百科事典シリーズの一環として作成。都道府県・市町村の観光関連行政担当者や観光協会・連盟の方々、これから観光を学ぼうとする方々にとっても十分に理解できる基本的な内容をまとめた観光に関する総合的なハンドブック。
（平成20年1月10日発行）

(6) 全国市町村・観光協会便覧

全国の市町村観光主管課及び支所主管課（2,670件）、観光協会及び広域の観光協議会等（2,111件）都道府県観光主管課及び観光協会、観光関係団体・省庁を収録。
（平成20年1月発行）

Ⅶ 人材育成・研修事業

1. 観光ボランティア支援事業（全国広域観光振興事業）

近年の観光ボランティアガイド組織の増大と地域の観光振興に占める役割の増大を踏まえ、地域と観光客との交流、地域文化の紹介、観光による地域おこしなどの観点から、観光ボランティアガイド活動の重要性、組織の育成や支援の必要性等をテーマにした全国大会を開催するとともに、啓発・研修資料の制作、ボランティアガイド活動の支援等を行った。

（1）平成19年度「地域紹介・観光ボランティアガイド全国大会（金沢）」の開催

- ①テーマ：おもてなしの心からはじまる魅力再発見
- ②開催日：平成19年11月21日（水）～22日（木）
- ③主催：社団法人日本観光協会
- ④共催：石川県／金沢市
- ⑤後援：国土交通省／総務省／社団法人石川県観光連盟／金沢市観光協会
- ⑥協力：ほっと石川観光ボランティアガイド連絡協議会
- ⑦場所：金沢全日空ホテル他（石川県金沢市）
- ⑧参加者：約950名

（2）資料の制作

観光ボランティアガイド活動の一助として、全国の観光ボランティアガイド組織約1100団体についての現状調査を行い、各種資料づくりに役立てた。

（3）観光ボランティアガイド情報の提供

ウェブサイト「全国旅そうだん」において、全国の観光ボランティアガイド組織が検索可能なシステムを整備し、情報提供を行った。

（4）観光ボランティアガイド活動の支援

①埼玉県観光ボランティアガイド養成講座の企画運営

埼玉県からの委託を受けて、平成19年9月から10月の2ヶ月間にわたり初級者コース、レベルアップコースの2コースの講座を各5回開催した。

②かながわコミュニティーカレッジ（観光ボランティアガイド養成講座）への講師の派遣12回開催される講座のうち、5回派遣した。

2. 地域要望等に基づく地域づくりセミナー、イベント実施事業

(全国広域観光振興事業他)

地方自治体の観光担当職員、地方観光協会（連盟）職員、観光関係企業の職員等を対象として、次表のとおり各ブロック毎に、地域の要望に応じたテーマを選んでセミナー、イベント等を実施した。

支部	内 容	日 時	開催地	参加者
北海道	セミナー「サミットと観光振興」	平成19年9月11日	札幌市	256名
東 北	東北観光セミナーin香港	平成19年10月30日～31日	香港	70名
関 東	観光ホスピタリティーフォーラム	平成19年12月3日	諏訪市	200名
中 部	中部ブロックセミナー	平成20年1月30日	金沢市	150名
関 西	観光産業活性化セミナー	平成20年2月28日	橿原市	60名
中 国	観光アカデミー「中四国連携で築く観光未来」	平成19年11月29日	岡山市	202名
四 国	おもてなし向上セミナー	平成20年3月下旬	高知市	
九 州	大分地域づくりinNAKATSU	平成19年9月27日～28日	中津市	71名
	鹿児島「農家民泊」を考える、育てる	平成20年2月26日	鹿児島市	120名

3. 講師派遣

平成19年度においては、次の地域等に協会役職員を講師として派遣した。

日 付	主催団体等	講演会名	講 師
5月16日	北杜市商工会	地域振興講演会	古賀 学
6月22日	(社)海外運輸協力協会	観光振興とマーケティングⅡセミナー	古賀 学
7月9日	日本商工会議所	地域資源全国展開プロジェクトセミナー	古賀 学
7月13日	中央日本観光協議会	中央日本観光協議会セミナー	古賀 学
7月27日	岐阜県中小企業団体中央会	おもてなし研修事業	古賀 学
8月21日	(株)山陰経済研究所	台湾からの観光客誘致に関する講演会	加藤 克志
8月30日	ひだみの観光推進協議会	ひだみのじまんキャンペーン	古賀 学
9月10日	ひだみの観光推進協議会	ひだみのじまんキャンペーン	古賀 学
9月11日	ひだみの観光推進協議会	ひだみのじまんキャンペーン	古賀 学
11月21日	愛知県	受入市場別セミナー	大島 正敬
12月6日	国土交通省	訪日外国人受入接遇研修会	大島 正敬
2月4日	国土交通省	訪日外国人受入接遇研修会	大島 正敬
2月29日	静岡県東部四市広報研究会	静岡県東部四市広報研究会の県外視察	鷺尾 祐子
3月18日	八戸商工会議所	産業観光ミニフォーラム	鷺尾 祐子
3月24日	国土交通省	訪日外国人受入接遇研修会	大島 正敬

Ⅶ 美化事業

1. 観光地合同美化キャンペーンの実施

観光地の美化の推進を図るため次の箇所でゴミ持ち帰り、資源のリサイクルを呼びかける「観光地合同美化キャンペーン」を実施した。実施に当たっては、都道府県、市町村、観光協会等の地元関係機関・団体及び日本たばこ産業(株)の協力を得た。

支 部	平成19年度実施地域		実施日	参加者
北海道	北海道千歳市	さけのふるさと館	8月4日(土)	14名
	北海道斜里町	知床峠他	8月1日(水)	33名
東北	宮城県仙台市	宮城県塩竈港、仙台港	7月12日(木)	180名
	宮城県仙台市	宮城県塩竈港、仙台港	7月25日(水)	380名
	宮城県仙台市	宮城県塩竈港、仙台港	11月15日(木)	200名
関東	栃木県那須塩原市	西那須野塩原インター付近	4月20日(金)	72名
	千葉県栄町	JR安食駅前他	5月26日(日)	40名
	静岡県富士宮市	富士山	8月19日(日)	3,504名
中部	福井県高浜町	五色山公園	8月7日(火)	30名
関西	三重県菟野町	湯ノ山温泉	8月20日(月)	50名
	滋賀県高島市	道の駅マキノ	9月13日(木)	50名
中国	鳥取県大山町	大山寺周辺	8月4日(土)	19名
	島根県川本町	ええなあまつりかわもと会場	8月4日(土)	30名
	岡山県鏡野町	奥津温泉	8月28日(火)	50名
	広島県尾道市	JR尾道駅前緑地帯	9月30日(日)	50名
	山口県長門市	湯本温泉地区他	8月4日(土)	50名
四国	高知県土佐清水市	足摺岬周辺	7月24日(火)	25名
	徳島県	新町川 水際公園周辺	8月10日(金)	43名
九州	佐賀県東与賀町	東与賀海岸	10月20日(土)	200名

2. スタンド灰皿の設置

人混みでの歩きたばこや、路上へのポイ捨てなどを予防し、喫煙マナー向上を図る為、スタンド灰皿を日本たばこ産業(株)の協力を得て、北海道、中部、四国地域の観光地に設置した。

特大(片面・両面タイプ)、標準(屋内・屋外タイプ) 型 135基

Ⅹ 全国広域観光振興事業

1. 全国広域観光振興事業運営評議会等の開催

全国広域観光振興事業を実施するに当たり、学識経験者、地域の代表からのご意見を伺い、より効果的な事業とするため、全国広域観光振興事業運営評議会を2回開催した。

(1) 全国広域観光振興事業運営評議会の開催

第16回 平成19年8月20日 ホテルルポール麹町 麹町会館（東京都千代田区）

第17回 平成20年3月19日 ホテルルポール麹町 麹町会館（東京都千代田区）

(2) 全国広域観光振興事業運営評議会委員

（平成19年3月19日現在）

学識経験者		山本 雄二郎	（高千穂大学客員教授）
〃		岡本 伸之	（帝京大学経済学部教授）
〃		青山 佳世	（フリーアナウンサー）
〃		間宮 忠敏	（独）国際観光振興機構理事長
〃		吉住 俊彦	（前（財）地方公務員安全衛生推進協会顧問）
〔都道府県職員〕 各ブロック代表者	北海道	熱田 洋子	（北海道経済部観光のくにづくり推進室長）
	東北	阿部 健	（岩手県商工労働観光部長）
	関東	武藤 賢治	（茨城県商工労働部長）
	中部	猿渡 要司	（岐阜県産業労働部長）
	関西	大森 久	（三重県観光局長）
	中国	小野 隆夫	（岡山県産業労働部長）
	四国	浜口 収	（高知県観光部長）
	九州	島田 万理	（熊本県商工観光労働部長）
	〔都道府県観光協会〕 （連盟）ブロック代表者	北海道	塩谷 敏雄
東北		伊本 廣一	（（社）宮城県観光連盟常任理事）
関東		中田 章三	（（社）神奈川連観光協会専務理事）
中部		持田 武俊	（（社）福井県観光連盟専務理事）
関西		西山 徹	（（社）奈良県観光連盟専務理事）
中国		犬山 正博	（（社）島根県観光連盟専務理事）
四国		藤原 俊嗣	（（社）愛媛県観光協会専務理事）
九州		洲鎌 孝	（（財）沖縄観光コンベンションビューロー常務理事）

2. 事業実施等の状況

I. 全国観光振興事業

[1] 広域観光の広報及び宣伝事業

(1) 旅フェア事業

【 II - 1 参照 P. 5 】

(2) 国内観光需要喚起キャンペーン事業

【 III - 2 参照 P. 16 】

(3) 海外観光宣伝事業

海外観光展出展関連事業

【 II - 3 参照 P. 11 】

台湾等との観光交流促進事業

【 II - 3 参照 P. 11 】

ビジット・ジャパン・キャンペーンに関する事業の推進

【 II - 3 参照 P. 12 】

[2] 観光による地域づくりの推進事業

(1) 資源づくり推進事業

① 優秀観光地づくり顕彰・普及事業

【 II - 2 参照 P. 6 】

② フラワーツーリズムの推進

【 II - 2 参照 P. 6 】

③ 産業観光の推進

【 II - 2 参照 P. 6 】

④ ヘルスツーリズムの推進

【 II - 2 参照 P. 8 】

⑤ 着地型旅行の推進

【 II - 2 参照 P. 9 】

⑥ 観光地域振興支援事業

【 II - 2 参照 P. 10 】

⑦ 地域要望に基づく地域への協力事業

【 II - 2 参照 P. 10 】

(2) 地域づくり・人づくり事業

① 観光による地域づくり事業等の推進

観光ボランティアガイド支援事業

【 VII - 1 参照 P. 21 】

② 地域要望等に基づく地域づくりセミナー、イベント等事業の実施・地域への協力事業

【 VII - 2 参照 P. 22 】

(3) 広域観光の推進事業

観光を考える百人委員会開催等

【 II - 4 参照 P. 13 】

(4) 観光地緊急支援事業

【 V - 2 参照 P. 10 】

[3] 全国地域観光情報の収集・提供事業

【 IV - 2 参照 P. 17 】

II. ブロック別広域観光振興事業

8ブロック各々が、内外での観光展示会の参加・開催、宣伝資料の作成、セミナーの開催など自己のブロックの観光振興にとって最も重要と判断する事業を実施した。

地域名	事業内容
北海道	①ホスピタリティ推進事業 ②バリアフリーマニュアルの検討事業 ③海外派遣事業
東北	①第15回台北国際旅行博出展事業 ②東北プロモーション事業
関東	①第15回台北国際旅行博出展事業 ②国内誘致事業(ふるさと観光展) ③国内誘致促進事業(春の関東越静観光展) ④情報提供事業(関東ブロック観光宣伝資料作成)
中部	①第15回台北国際旅行博出展事業 ②上海旅游资源博覧会出展事業 ③中部広域観光推進協議会推進事業
関西	①国内観光展事業(横浜) ②国内観光展事業(大阪) ③観光宣伝資料の制作事業
中国	①旅フェア2007出展事業 ②台湾関係事業(台北国際旅行博出展事業、パンフレット等作成) ③中国地方国際観光ビジネスフォーラム開催事業 ④中国ブロック観光情報サイト推進事業
四国	①旅フェア2007出展事業 ②第15回台北国際旅行博出展事業 ③四国インバウンドフォーラム連携事業
九州	①観光ボランティアガイド九州ブロックの発足と九州大会の実施事業 ②九州観光パンフレットの制作事業 ③旅フェア2007出展事業 ④国際観光展への出展事業 ⑤沖縄観光大作戦事業 ⑥観光タクシー乗務員認定事業

X ホテル・旅館登録事業

1. ホテル・旅館登録事業の実施

(1) 国際観光ホテル整備法に基づく登録業務

国際観光ホテル整備法に基づき、ホテル・旅館の登録業務を行った。

区 分	19年度 新規登録件数
ホテル 旅館	13件 4件
計	17件

(平成20年3月31日現在)

(2) 登録標識の製作・販売

登録標識4種の作成販売を行った。

(3) ホームページによる情報提供

21世紀の観光振興に大きな役割が期待されている国際観光ホテル整備法に基づく登録ホテル・旅館の周知のためホームページによる情報提供を行った。(http://hotel.nihon-kankou.or.jp/index.html)